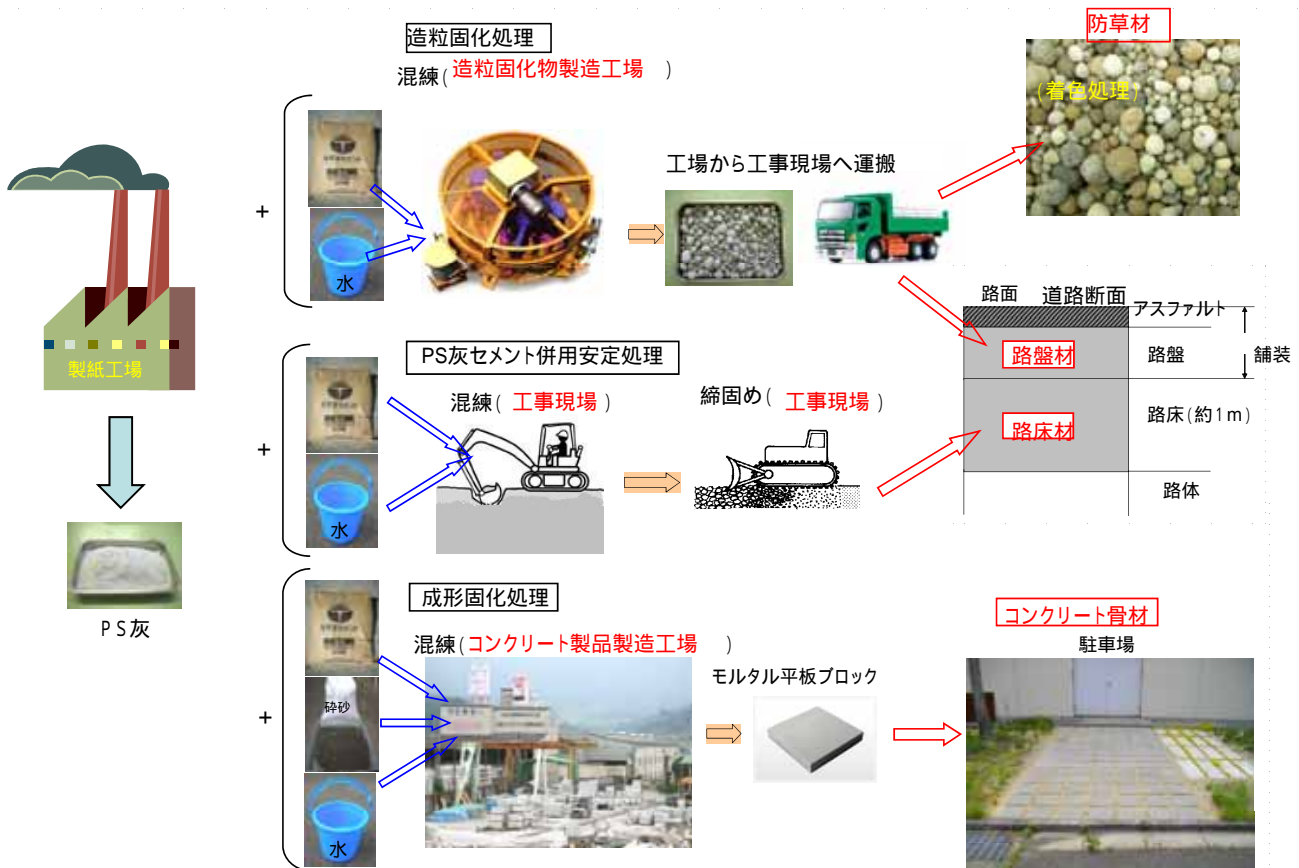


製紙スラッジ焼却灰を有効利用した新技術・新工法

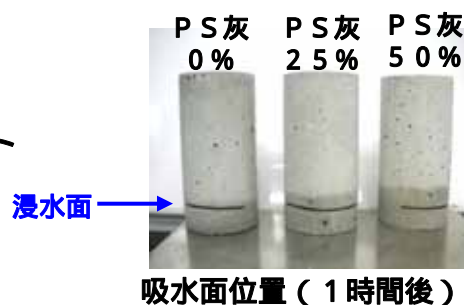
- 製紙スラッジの焼却副産物利用に関する研究 (H20~22) -

愛媛県産業技術研究所 建設技術センター 主任研究員 阿部 芳典

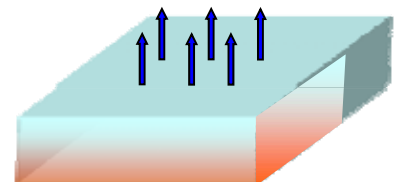
製紙スラッジ焼却灰は、未だその一部が埋立て処分を余儀なくされているため、これにセメントを添加して造粒固化あるいは成形固化等の処理を行って、路床材、路盤材、防草材、コンクリート骨材等の用途に利用する新技術・新工法を研究しています。



吸水、保水性コンクリート



保水している水が気化



これまでの研究により、製紙スラッジ焼却灰の持つ優れた吸水性・保水性を活かした付加価値の高い新技術・新工法の可能性を有することが確認できたことから、今後は成形固化物の厚さと、保水した水が蒸発する際の気化熱による表面温度低減効果の持続性との関係等を明らかにすることとしています。

本研究は、産業技術研究所試験研究費等により実施しています。